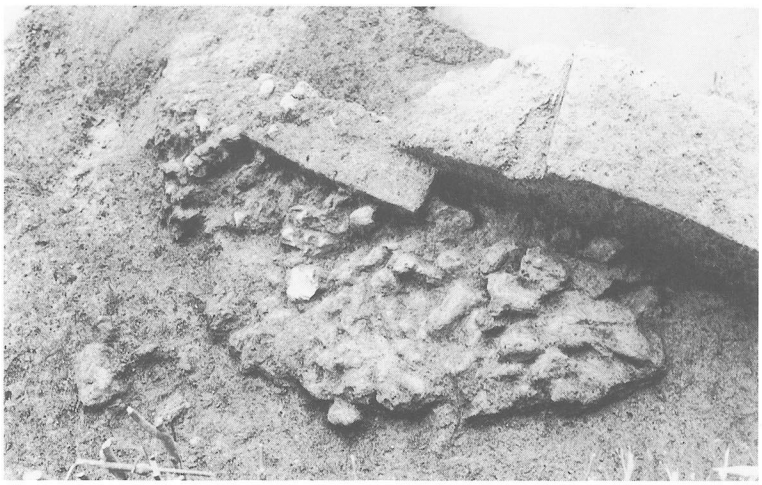
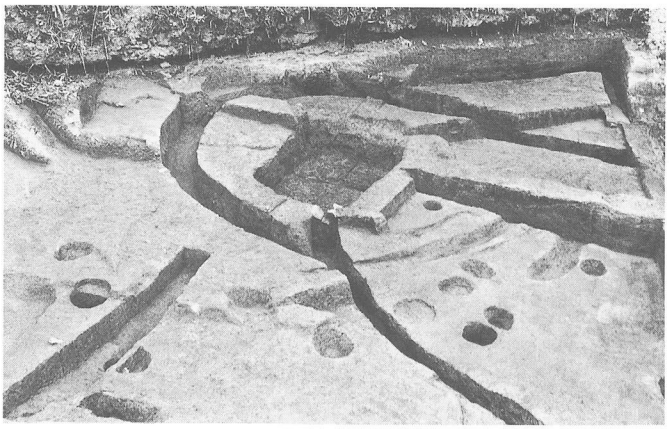
炉壁検出状況 I



炉壁検出状況 2

炉壁除去後

図版 4

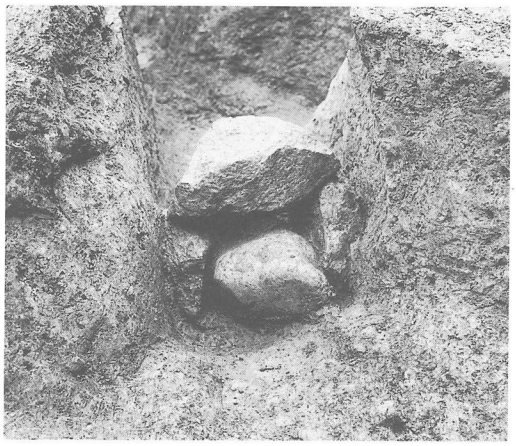


Ⅰ区全景（南から）

上　方形土壙発見状況

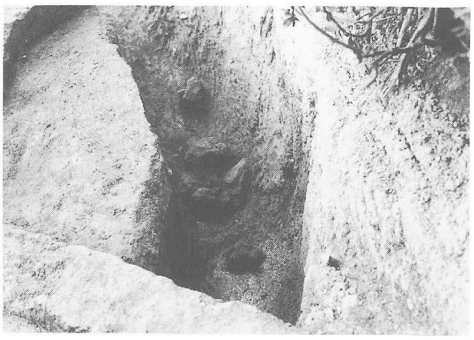
中　ＳＤⅠ内炉壁堆積状況

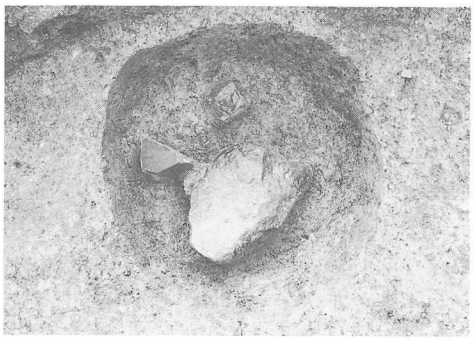
下　Ｐ２　平石検出状況



排水口石組（北から）

排水口石組（蓋石除去後）



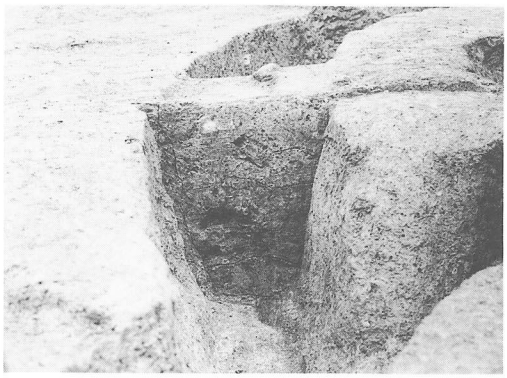


Sec. 1 西半
（方形土壙断面）

Sec. 1 東半

Sec. 6 北半

図版 6

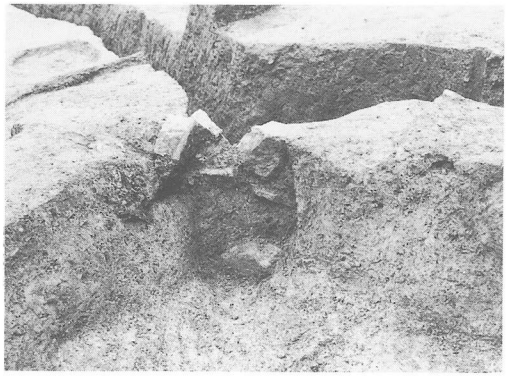


Sec. 2 南端（ＳＤＩ断面）

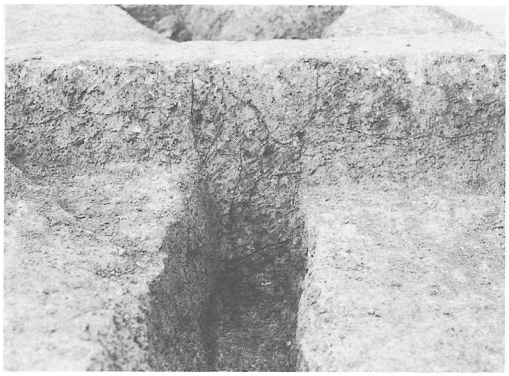
Sec. 2 北端（ＳＤＩ断面）

Sec. 8 （排水口石組断面南側）

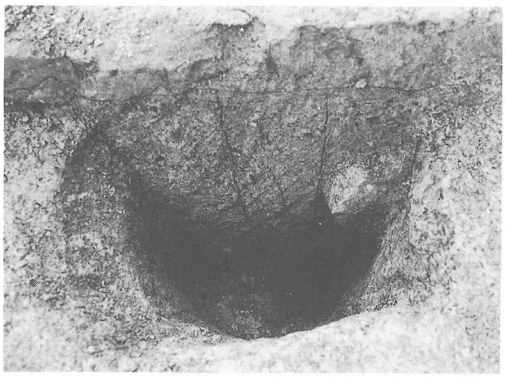
〔 Sec. 4 （ＳＤ２断面付近）〕



Sec. 8 （排水口石組断面北側）

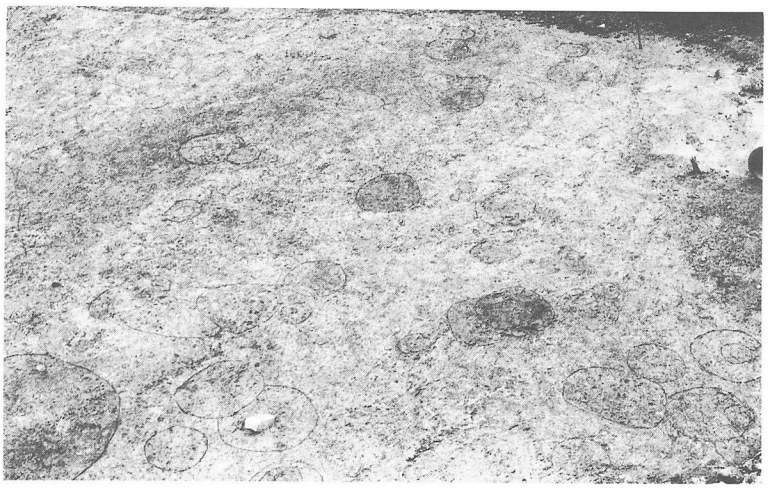


Sec. 5 （ＳＤ２断面）



Ｐ２断面

II a 区全景
（南から）



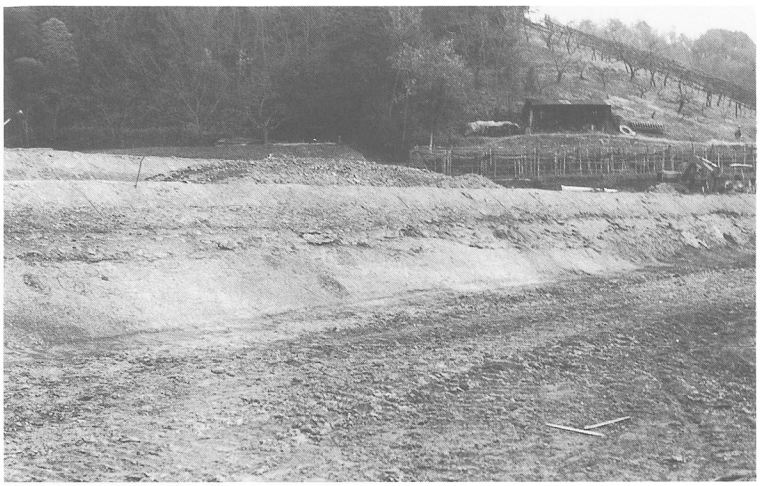
II b 区西半柱穴群
（南から）

II b 区全景
（南から）

II b 区107検出状況
（北から）

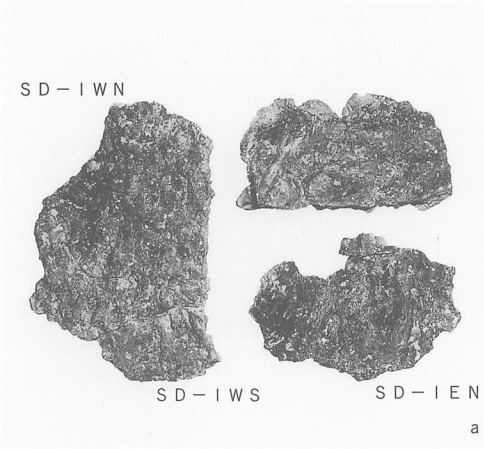
図版 8

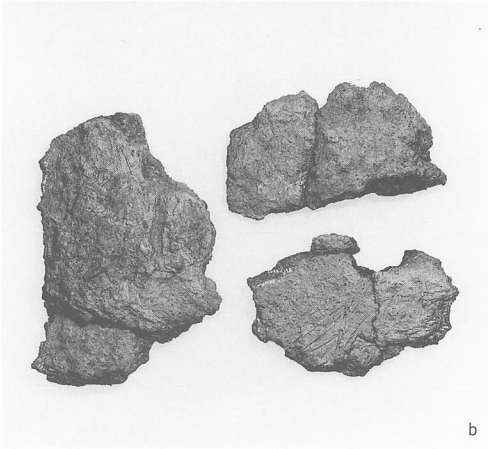
III区　法面土層状況 1
（西半　山側をみる）



III区　法面土層状況 2
（東半　谷側をみる）

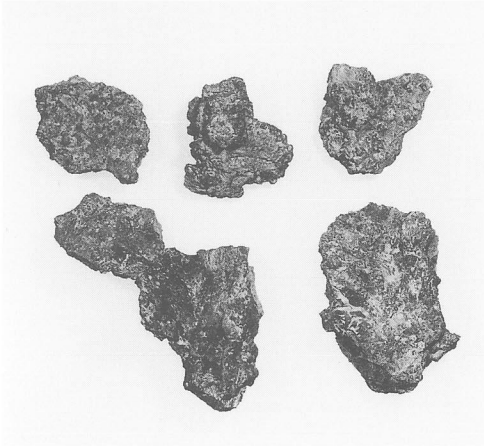
III区　法面土層状況 3
（柱穴検出状況）





Ⅰ区出土炉壁（a：炉内側、b：壁側）

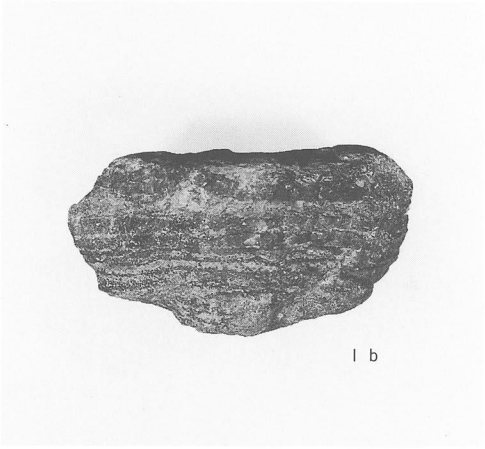
Ⅰ区出土炉壁（a：炉内側、b：側面）



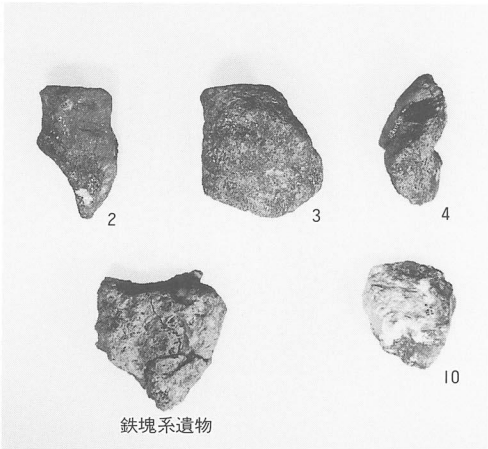
Ⅰ区出土炉壁（炉内側）

Ⅰ区出土鉄塊系遺物（図版10の拡大）

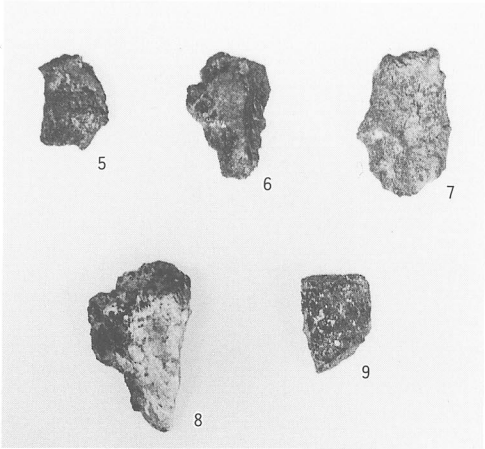
図版10



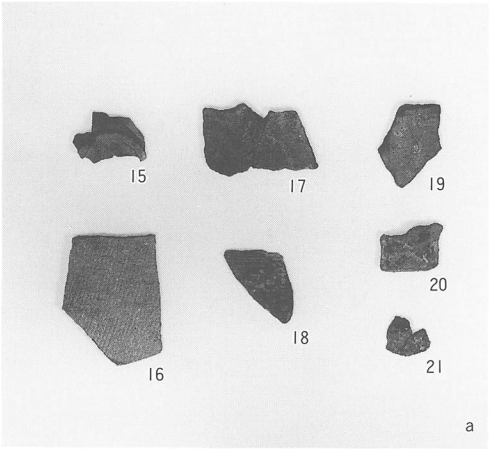
Ⅰ区出土鉄鉱石（ｂ：ａの左側面）

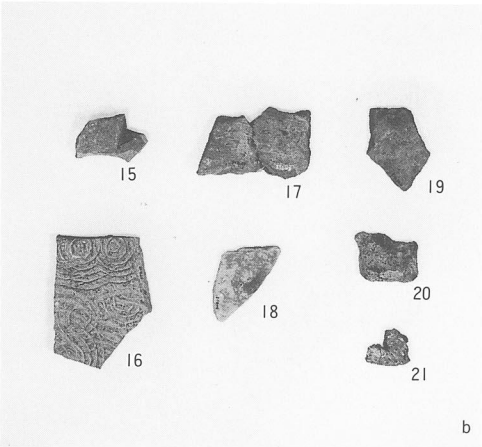


Ⅰ区出土鉄鉱石

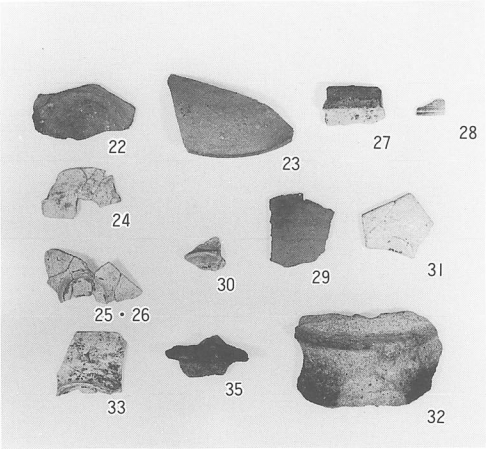


Ⅰ区出土鉄鉱石

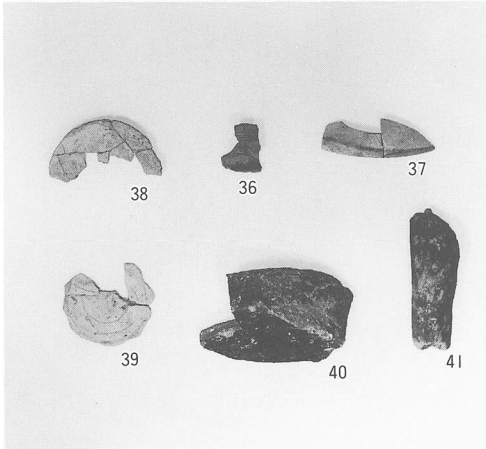




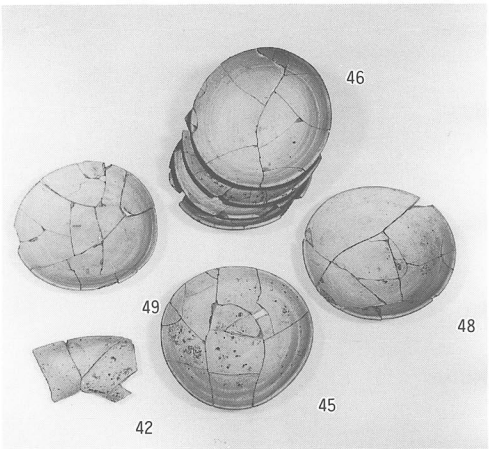
Ⅰ区炉周辺出土物（ａ：表、ｂ：裏）



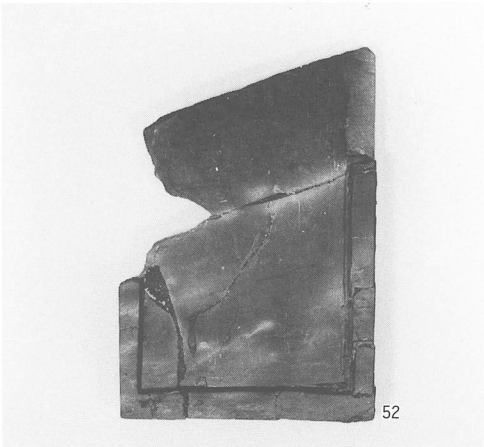
Ⅰ区遺構内出土物



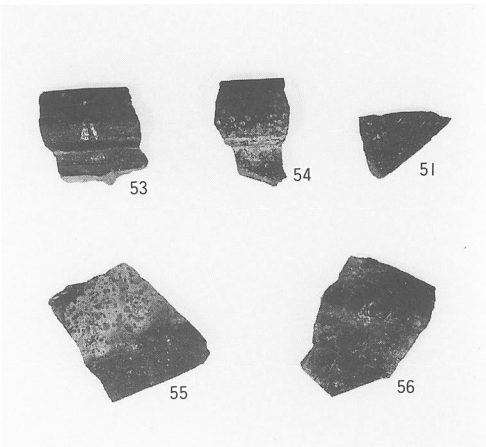
Ⅰ区出土物



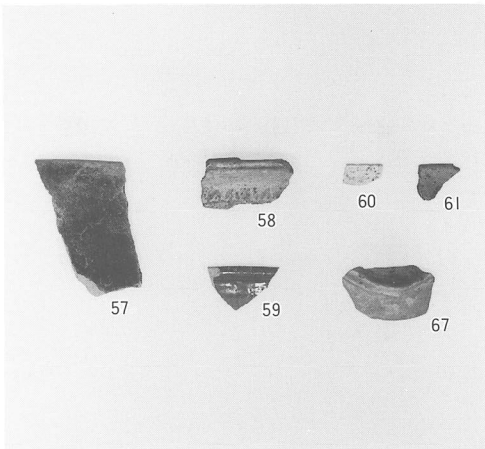
Ⅱ区出土皿



Ⅱ区出土硯



Ⅱ区出土備前焼



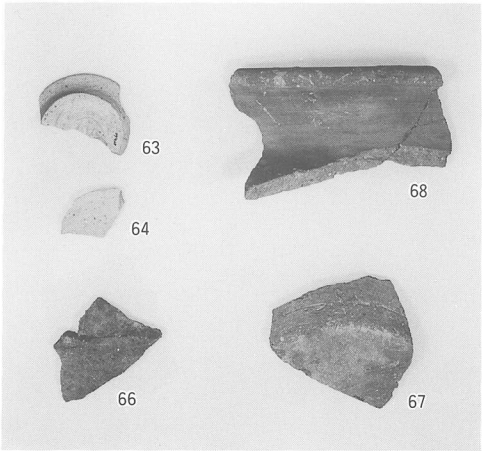
Ⅱ区出土物

図版12

II区出土小皿（a：内底、b：外底）

II区出土小皿（a：内底、b：外底）

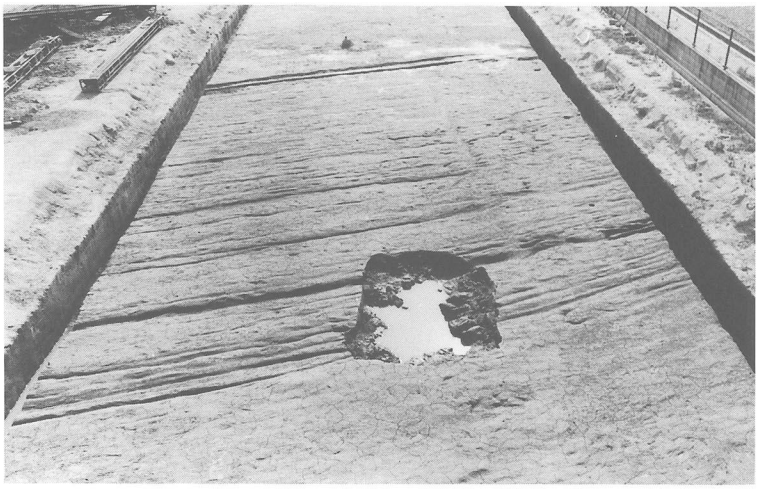
II区出土硯（部分拡大）



表採遺物

西祖橋本遺跡遠望
（東から）

水田検出状況

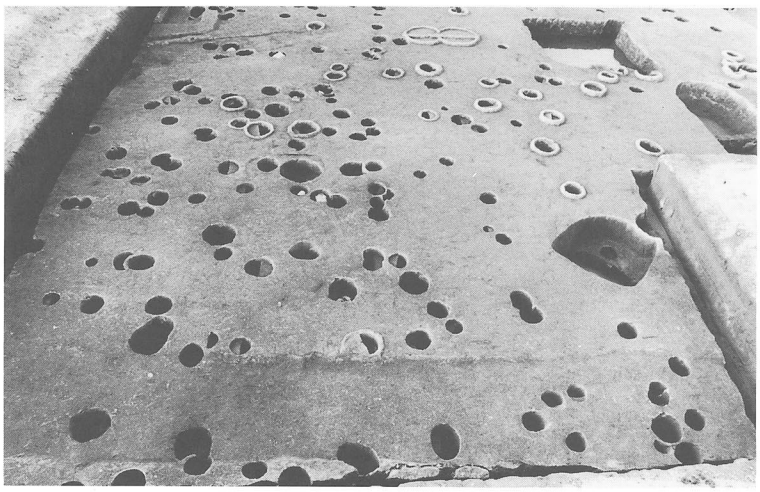


Ｅ Ⅰ層水田

図版14

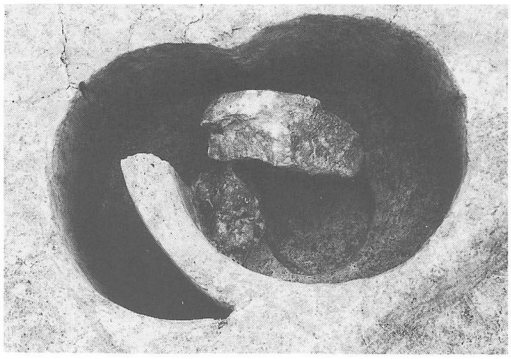
ＳＤ10・ＳＤ24

柱穴群（西から）



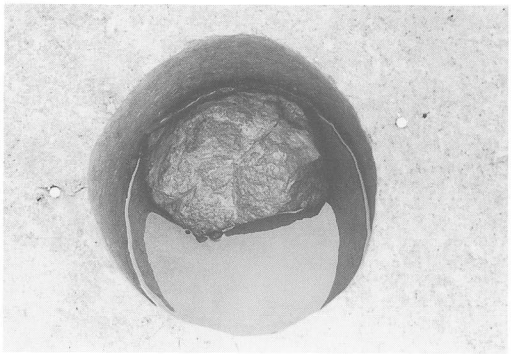
柱穴群（南から）

P 18

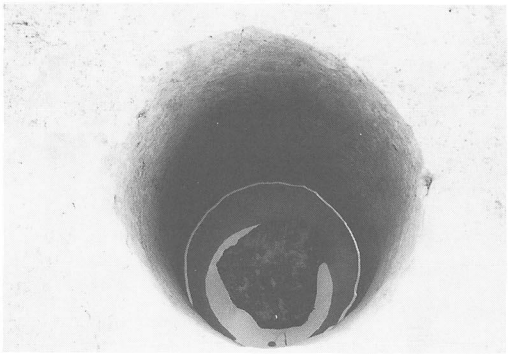


P 283　　P 282

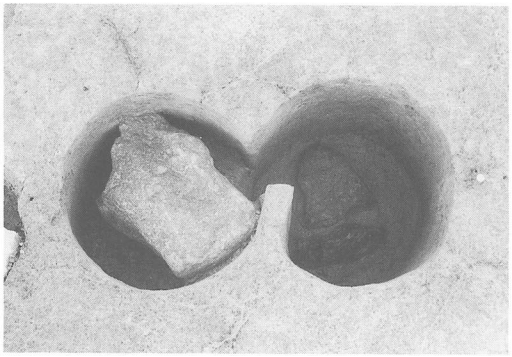
P 50



P 85

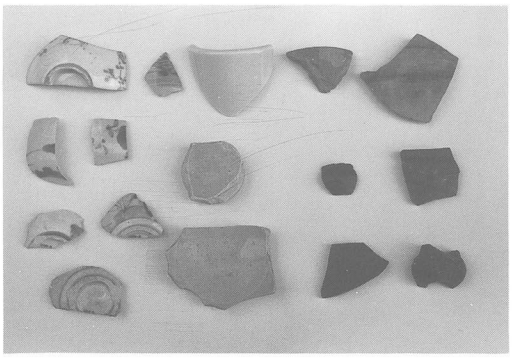


P 61



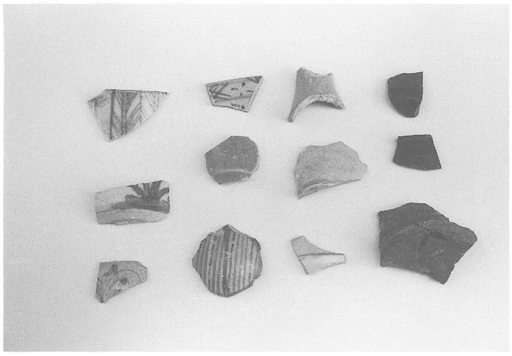
P 161　　P 160

図版16

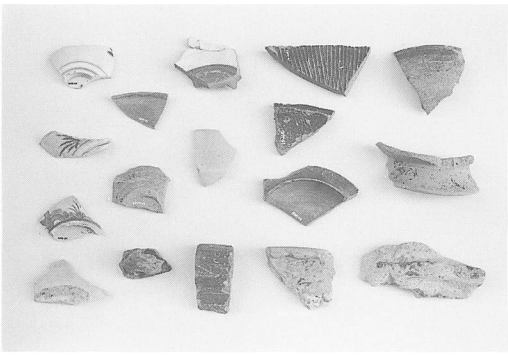


A層

C 2層



B層



D I 層

C I 層

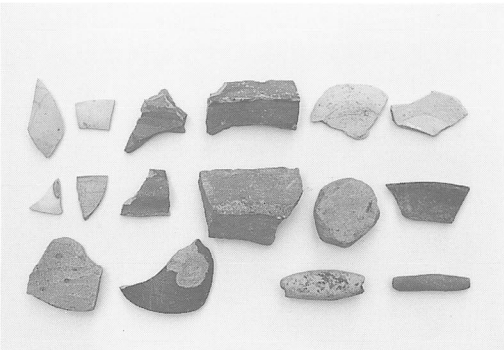
D 2層

D 3層

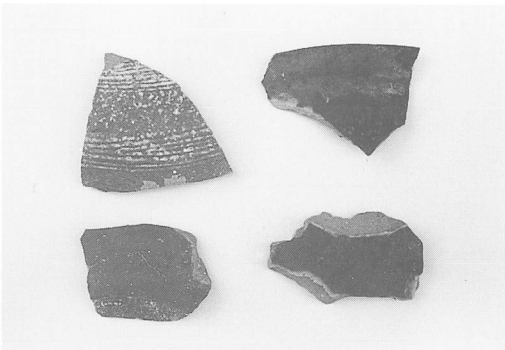
E 2層

D 4層

F層



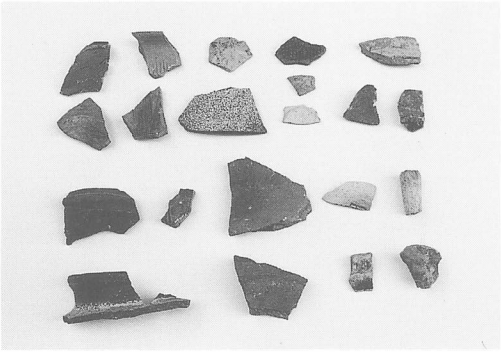
E I層



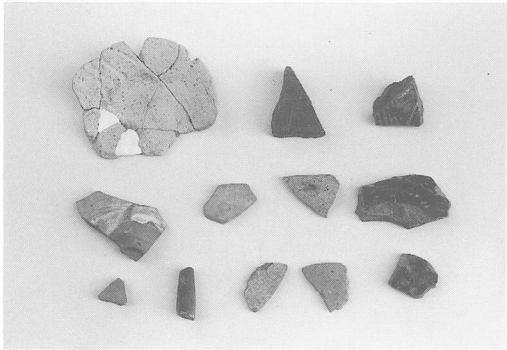
G層

図版18

H層

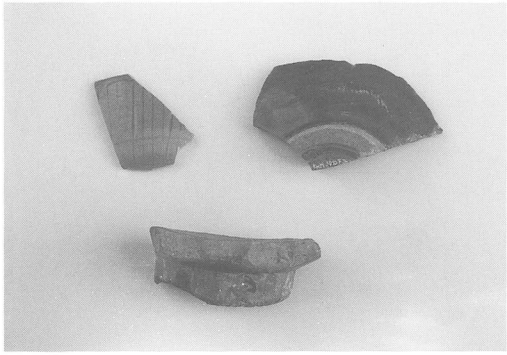


SD10

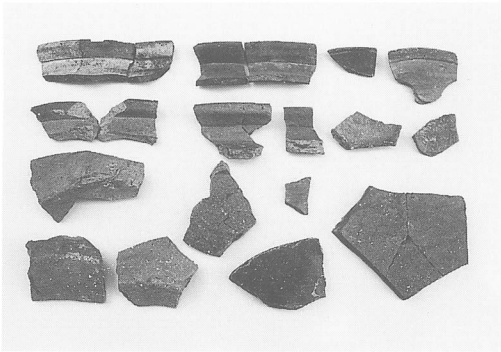


各溝

SD24

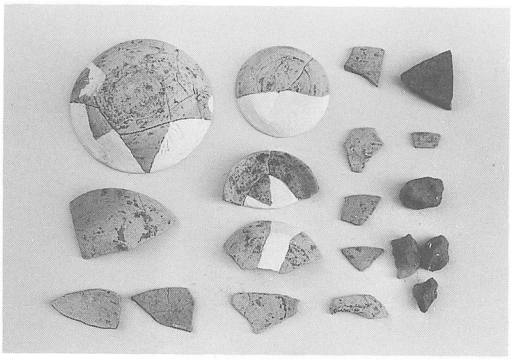


SD10

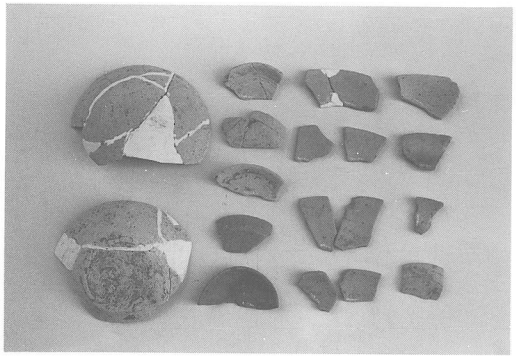


SD24

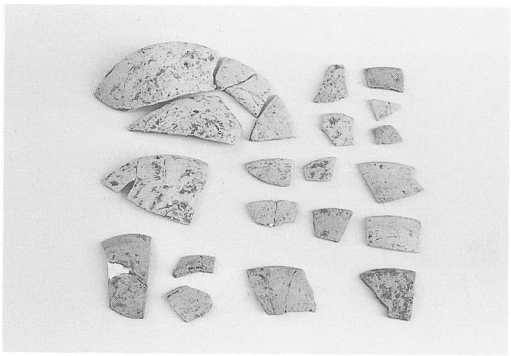
柱穴



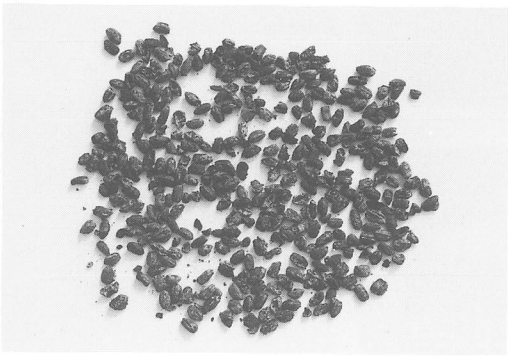
P 372



P 101



P 373

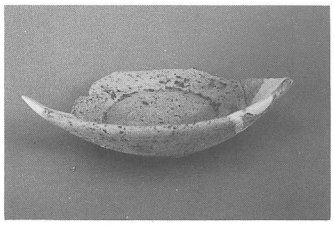


P 215（炭化米）

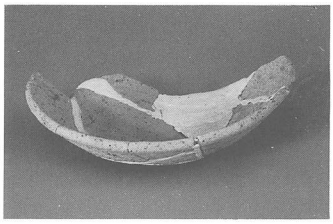
D 2 層（炉壁）

図版20

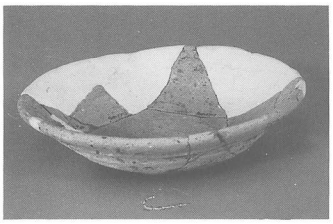
205



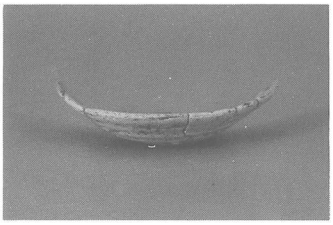
207



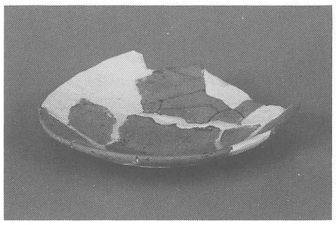
208



260

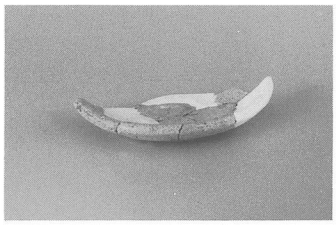


271

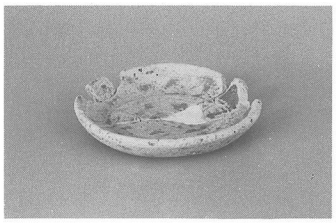


222

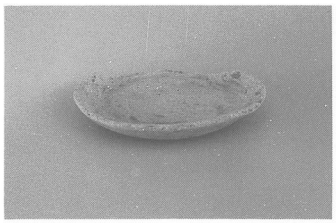
224



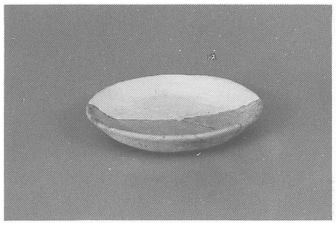
246



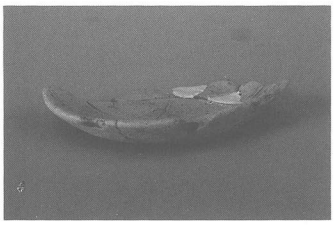
247



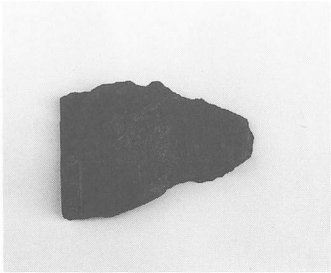
248



263

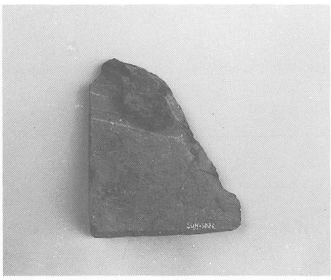


126

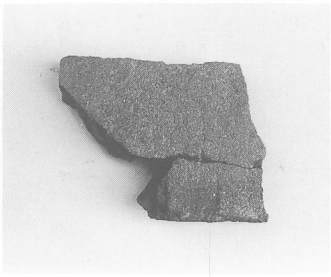


154

193



194



287

あ　と　が　き

現代社会の礎を築いてきた先人たちの不屈の営み－岡山市域においても数万年前から絶えることなく今日まで続けられています。その時の流れのなかで、多くの文化遺産が形造られ、今日まで継承されてきています。これらは市民共有の先人たちの遺産であり、子孫へ伝えなくてはならない財産であります。まさに文化財と呼ばれるものです。

最近の著しい都市開発と生活の近代化は、伝統ある文化や生活様式を喪失させ、自然環境の破壊や公害問題を引き起こしています。そのようななかで、文化遺産も極めて危険な状況にあります。岡山市教育委員会の文化課は文化遺産の保護と調査に努めていますが、埋蔵文化財の保護行政は、土地の開発か文化財の現状での保存かのまさに二者択一を強いられる修羅場であります。こうした状況の内で、両者の整合を少しでも図るべく記録保存の発掘調査を実施しています。しかし、その社会的要求は天井知らずの恐れさえ覚えさせられます。私は、各種の発掘現場に立つたびにその奥行の深さとかけがえのなさを痛感させられ、文化財保護行政の責務の重要性を改めて肝に銘じるところです。

この度の発掘調査は、突発的な調査であったと聞きます。調査は対策委員の先生方のご指導と、多くの関係者の皆様方のご尽力とご協力により無事終了し、ようやくここに報告書の刊行にまで漕ぎ着けました。各位に感謝申し上げます。

発掘調査の成果はこの報告書にまとめました。この報告書が、今後の埋蔵文化財の保護保存と調査に、さらに私たちの共有財産である郷土の文化財に対する理解と認識を深める一助となることを願うものです。

最後に、この度の発掘調査ならびに報告書作成に、厳しい状況の下で精力的な取り組みを遂行させた文化課の関係職員の労を多とします。

平成６年３月31日

岡山市教育委員会社会教育部
文化課長　青　山　　淳

西祖山方前遺跡
西祖橋本(御休幼稚園)遺跡
発掘調査報告

平成6年3月31日発行

制作・編集　岡山市教育委員会文化課
発　　行　岡山市教育委員会
　　岡山市大供1－1－1
印　　刷　株式会社　創　文　社